※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	地基 061-901　「地学基礎　改訂版」（啓林館）						
副教材等	センサー地学基礎 4th Edition（啓林館） 三訂版ニューステージ地学図表（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地震、津波・火山噴火・台風・大雨、大雪･･･ 私たちの住む日本列島は毎年いろいろな自然災害に襲われている。今後それらによる被害を減らすためにも、先ず相手のことをよく知って、個々人ができることから取り組んでいくことが求められている。災害はなぜ起こる？その原因は何で、どのような場所で発生する？疑問を持ち続けて、地球システムを深く理解しよう。さあ、地球とうまくつきあっていく方法の探索に出かけよう！！

2　学習の到達目標

・宇宙の一部である地球活動の基礎知識を理解し、火成岩の判別や天気図の読み方、地層の新旧判別等の技能を習得する。
・目に見える地球活動とその結果の地形や現象と、現象の原因である地球の熱や万有引力、浮力との関連、さらに時間の経過によってどのような変化を遂げるかということを思考する力を養う。
・身の回りの地球活動、地学に関わる現象に関心を持ち、意欲的に探究する能力と態度を養う。私たちを取り巻く環境の変化や自然災害に対し、科学的な視点で理解、思考し、減災やエコの観点をもって持続可能な社会づくりに貢献できる力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地学現象に関する基本的な観察方法、作図等の実習的内容を習得する。さらに、それらの結果を的確に記録・整理する。 地学現象に関する基本的な概念や原理･法則について理解を深め、知識を身につけている。	関心のある地学現象について深く考察し、科学的な観点から導き出した内容を的確に表現している。	新聞やニュース番組などを通して、常に身の回りの地学に関わる現象や話題に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	固体地球	・地球の概観、内部構造 ・プレートテクトニクス ・地震、災害 ・火山活動、火成岩	a: 地層の路頭を観察し、記録することができる。地質断面図を正しく読むことができる。堆積岩、変成岩の分類ができる。生物の変遷による地質時代の区分が理解されている。 b: 中央海嶺、海溝、大山脈の大地形、地震の発生、火山の活動とプレートの運動を関連づけて考察できる。 c: 地震発生の仕組み・地震被害について関心が深い。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	学習状況 ノート レポート
	地球の歴史	・堆積岩、変成岩 ・地層と地質構造 ・地球の歴史区分と化石 ・地球生命の進化				
2学期	大気と海洋	・地球大気の構造 ・地球の熱収支 ・大気、海水の大循環 ・日本の天気	a: ＨＲ図を作成し、太陽や他の恒星の性質や進化を正しく整理できる。恒星の代表として、太陽の構造が理解できている。 b: 地球全体のエネルギー収支について考え、風・海流と熱輸送の関係を正しく考察している。 c: 太陽系や銀河系等に関心を持って調べようとする。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	学習状況 ノート レポート
	宇宙の構成	・太陽系の誕生とその天体 ・太陽の素顔 ・恒星としての太陽の進化 ・銀河系と宇宙				
3学期	自然との共生	・地球環境と人類 ・地震、火山災害と社会 ・気象災害と社会 ・地球環境問題	a: 地球温暖化、オゾンホール等を理解している。 b:災害によって起こる問題とそれへの備えについて考え表現することができる。 c: 自然の恩恵や自然災害と人間生活との関わりについて調べようとする。	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度